

みずほCustomer Desk Report 2016/07/27号(As of 2016/07/26)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	105.61	1.0989	116.03	0.9861	1.3102	0.7475
SYD-NY High	105.89	1.1030	116.30	0.9928	1.3177	0.7541
SYD-NY Low	104.00	1.0978	114.47	0.9835	1.3057	0.7463
NY 5:00 PM	104.65	1.0987	114.95	0.9924	1.3129	0.7501

USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl) 14.43/14.93 **△25RR** 0.875 Yen Call Over

NY DOW	18,473.75	▲ 19.31	債券市場	日本2年債	-0.3300	▲0.1bp
NASDAQ	5,110.05	12.42		日本10年債	-0.2450	▲0.5bp
S&P	2,169.18	0.70		米国2年債	0.7539	2.1bp
日経平均	16,383.04	▲ 237.25		米国5年債	1.1331	▲0.7bp
TOPIX	1,306.94	▲ 18.42		米国10年債	1.5611	▲1.2bp
シカゴ日経先物	16,455	▲ 160.00		独10年債	-0.0270	1.4bp
ロンドンFT	6,724.03	13.90		英10年債	0.8220	1.2bp
DAX	10,247.76	49.52		豪10年債	1.9210	0.8bp
ハンセン指数	22,129.73	136.29		為替市況	USD/CNH	6.6799
上海総合	3,050.17	34.34		ドルインデックス	97.16	▲0.12

USDJPY 3M Vol	12.69	▲0.18%	商品市況	CRB指数	181.219	▲0.09
USDJPY 6M Vol	12.05	▲0.15%		NY金	1,328.300	1.10
EURJPY 3M Vol	13.57	▲0.17%		WTI	42.920	▲0.21
EURJPY 6M Vol	13.11	▲0.15%		Dubai Spot	40.76	▲0.61

東京 東京時間のドル円は105.61レベルでオープン。前日海外時間に原油相場・米株式市場が軟調推移した流れを引き継ぎ、日経平均株価が寄り付き後、急速に下落幅を拡大したことを見て、ドル円は104.65近辺まで急落。日経新聞に「経済対策で財政支出が6兆円規模になる可能性」などと報じられたものの、あくまでヘッドラインの数字だけが先行した形で、実態としては2017年度予算案なども含めた予算総額ということで、大規模経済対策への期待感剥落につながったことも要因の一つと見られる。午後に入り、麻生財務相から「政府の経済対策規模は現在調整中」などの発言が伝わる中、日経平均株価が引き続き上値重く推移したこと背景に、ドル円はストップロスオーダーを巻き込みつつ、一時104.23までもう一段下落する展開。結局104.30レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)

ロンドン ロンドン時間のドル円は104円台前半で小動きの展開。朝方は104.30レベルでオープン、寄り付き後、軟調に推移する欧州株につられクロス円が下落し、かつ米長期金利の低下を受けドル円は一時104.00まで下落。その後、欧州株が持ち直すとクロス円、ドル円ともに回復し、ドル円は104.31レベルでNYへ渡った。ボンドトルは1.30台後半から1.31台前半まで上昇する展開となった。朝方は1.3093レベルでオープンし、欧州株の軟調地合を受け一時1.30台半ばまで下落したものの、その後反転、英6月BBA住宅ローン承認件数が4.01万件と市場コンセンサス3.96万件を上回ったことを受け伸し、1.3127レベルでNYへ渡った。(ロンドンキー 日比野00531 444 179)

ニューヨーク NY時間のドル円は104.31レベルでオープン。朝方は狭いレンジ内での推移が続くが、米7月消費者信頼感指数が前回から低下したものの市場予想を上回り、米6月新築住宅販売件数も市場予想を上回ったことから高で推移し、104.81まで上昇。その後も軟調に推移していた米株式市場が下落幅を縮小させる中、「日銀関係者が追加緩和に傾斜していると発言」とのヘッドラインが伝わると、104.98まで延伸。午後はFOMC結果発表を翌日に控え、104.60付近での狭いレンジ内での推移が続き、104.65レベルでクローズした。一方、ユーロドルは1.0998レベルでNYオープン。朝方はユーロドルが下落する展開にユーロドルも1.0985まで下落する展開。その後、一旦1.1006まで戻す局面があつたものの、再びユーロ売り優勢となると1.0978まで値を下げた。午後は翌日にFOMC結果発表を控え、狭いレンジ内での推移が続き、1.0987レベルでクローズした。(NY 00531 113 682 井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧説を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:伊藤・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月26日	7:45	NZ 貿易収支	6月 127M	150M
	17:30	英 BBA住宅ローン承認件数	6月 40,103	39,650
	22:45	米 マークイットコンポジット/サービス業PMI・速報値	7月 51.5/50.9	-/52.0
	23:00	米 新築住宅販売件数	6月 592K	560K
	23:00	米 消費者信頼感指数	7月 97.3	96.0
	23:00	米 リッチモンド連銀製造業指数	7月 10	-5

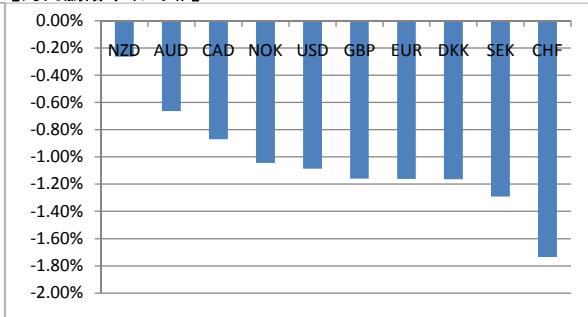
【本日の予定】

Date	Event	予想	前回
7月27日	10:30 豪 消費者物価指数(前期比/前年比)	2Q 0.4%/1.1%	-0.2%/1.3%
	10:30 豪 CPI・リム平均値(前期比/前年比)	2Q 0.4%/1.5%	0.2%/1.7%
	15:00 独 GfK消費者信頼感	8月 9.9	10.1
	17:30 英 GDP・速報値(前期比/前年比)	2Q 0.5%/2.1%	0.4%/2.0%
	20:00 米 MBA住宅ローン申請指數	-	-1.3%
	21:30 米 耐久財受注/除く輸送用機器(前月比)	6月 -1.4%/0.3%	-2.3%/-0.3%
	23:00 米 中古住宅販売仮契約(前月比)	6月 1.2%	-3.7%
	7月3:00 米 FOMC政策策金利	-	0.25-0.50%
			0.25-0.50%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	103.50-105.50	1.0950-1.1050	114.00-115.50

【マーケット・インプレッション】

昨日海外市場のドル円相場は小幅に値を戻す展開。本日まで開催されるFOMCと明日から開催される日銀金融政策決定会合を控え、過度に織り込まれていたFRBのタ力派バイアスと日銀による追加緩和観測に巻き戻しの動きが入る展開に、東京時間は急速に円高が進行、ドル円相場は一時14日以来となる104.00まで下落する流れに。海外時間に入る、東京時間に進んだ円高進行の動きは一服、この日発表された米国の新築住宅販売件数等一連の経済指標が総じて良好な内容となつたことや一部報道で日銀が追加緩和を検討との報道がなされると、一転してドル買いが進む展開となり、ドル円も104円台後半まで値を戻す展開に。本日はFOMCの内容発表を控え、総じて動意に乏しい展開が予想されるが、明日より開催される日銀の金融政策決定会合を前に思惑が入り混じっており、関連報道に相場が上下する展開には警戒が必要か。